17. 浄向川流域（じょうこうがわりゅういき）

この地域は、成田市の北部に位置する浄向川の流域を含んでいて、その一部は利根川に接しています。北側には水田が広がっています。水田の一部では、ハスが栽培されてハス田になっており、開花の時期である夏にはきれいな花を咲かせます。南側には谷津田（やつだ）が見られ、その周辺は丘陵地となっています。丘陵地の多くは、スギ・ヒノキ植林となっていますが、これらに混じって落葉樹の群落も見られます。

水辺にはガマなどの湿生植物やヤナギモなどの沈水植物、ヒシなどの浮葉植物が生育し、水田周辺には水田雑草群落が見られます。ここでは、水辺や樹林を好む生き物が多く見られます。水辺では、トンボやチョウの仲間が多く見られます。水田では、ヨシに止まって鳴いているニホンアマガエルや畦（あぜ）に産卵するシュレーゲルアオガエルなどが多く見られます。また、畦（あぜ）ではニホンカナヘビやモグラ塚も多く見られます。鳥類は、水田で餌を採ったり、休息したりするダイサギやコサギなどのサギの仲間やセキレイの仲間が多く見られます。

利根川に近い小浮地区のハス田（群生地）

ガードレールでサギの仲間がお出迎え

耕作地に群れるサギの仲間

名木地区周辺の丘陵地の樹林、畑地、農家など

この地図は、国土地理院の電子地図25000『下総滑川』、『佐原西部』を使用したものである。

第３次調査確認種数

種　別	確認種数
植　物	349種
ほ乳類	3種
鳥　類	34種
両生類・は虫類	4種
昆虫類	337種
底生生物・魚類	6種

第1次調査、第2次調査は、実施していない。

セグロセキレイ